



和訳文

## BNP パリバ・グループ

## 2009年度第1四半期決算報告書

依然として厳しい環境の中、15億6000万ユーロの純利益(グループ帰属分)を確保

	当四半期	前年同期比
営業収益	94億7700万ユーロ	28.2%増
営業費用	-53億4800万ユーロ	16.1%増
営業総利益	41億2900万ユーロ	48.0%増
リスク費用	-18億2600万ユーロ	3.3倍
営業利益	23億300万ユーロ	2.6%増
グループ帰属純利益	15億5800万ユーロ	21.4%減

## 資本を強化

	2009年3月31日	2008年12月31日
TIER 1 比率	8.8%	7.8%

## 新たな環境へ素早く順応

- リスク加重資産が減少(2008年12月31日比240億ユーロ減または4.6%減)
- 市場リスクが軽減(VaR:2008年12月31日比46%減)
- 連結範囲および為替レートの変動による影響と変動費用を除外した場合のコストが安定化:前年同期比2.4%減

## 事業活動は極めて好調

記録的な純資産流入額:当四半期は134億ユーロ、2008年度は通期で106億ユーロ  
 当座および預金口座:フランスで6万5000口座増、イタリアで1万7000口座増

## フォルティス:欧州におけるBNPパリバの統合的ビジネス・モデルの展開継続

- 新たな2つの国内市場(ベルギーとルクセンブルク)
- ユーロ圏で最大の預金残高:5400億ユーロ
- 運用資産6600億ユーロ

BNP パリバ取締役会は 2009 年 5 月 5 日に開催されました。ミシェル・ペブロー会長が議長を務め、当グループの第 1 四半期の決算が取締役会により承認されました。

## 15 億 6000 万ユーロの純利益(グループ帰属分)

2009 年度第 1 四半期も、継続する経済悪化や金融市場での根強い混乱により、環境は引き続き厳しいものでした。このような状況にもかかわらず、BNP パリバは極めて堅調な業績を達成し、15 億 5800 万ユーロの純利益を生み出すことができました。この業績は、BNP パリバの多様かつ統合的なビジネス・モデルや西欧地域に集中した地域的構成、またコスト管理の徹底やリスク管理体制のおかげで達成できたものです。

当グループの営業収益合計は 94 億 7700 万ユーロとなり、2008 年度第 1 四半期と比較して 28.2% 増加しました。この業績は、各業務部門の高いセールスおよびマーケティング牽引力や、現在の銀行業界における当グループの魅力の更なる高まりに起因するものです。しかし営業収益に対する金融危機の直接的影響額はマイナス 5 億 5500 万ユーロであり、2008 年度第 1 四半期のマイナス 5 億 4900 万ユーロと同水準になりました。この公正価値調整額の内訳は、CIB 事業部門がマイナス 4 億 100 万ユーロ、資産運用および証券管理事業部門がマイナス 6900 万ユーロ、コーポレート・センターがマイナス 8500 万ユーロでした。なお、当グループ発行の債券に関連する 5700 万ユーロ(2008 年度第 1 四半期比 1 億 8300 万ユーロ増)のプラスの公正価値調整額も計上されています。

営業費用は合計 53 億 4800 万ユーロとなり、前年同期比 16.1%増加しました。全業務部門でコスト削減策を実施した結果、営業費用は、連結範囲および為替レートを一定とし、さらに、変動費用を除外した場合で 2.4%減少しており、2009 年度におけるコスト安定化目標に合致しています。また全事業部門のコスト/インカム率は 56.1%で、7.9 ポイント改善しました。

営業総利益は、当グループの当四半期における好調な業績を反映して 41 億 2900 万ユーロに達し、前年同期比 13 億 3900 万ユーロ(48%)増加しました。この結果、追加リスク費用の負担が可能になりました。

リスク費用合計は 18 億 2600 万ユーロ(またはリスク加重資産の 128 ベーシス・ポイント<sup>1</sup>)となりました。これに対し 2008 年度第 1 四半期は 5 億 4600 万ユーロで、2008 年度第 4 四半期は 25 億 5200 万ユーロでした。当グループの 2 つの国内市場(フランスおよびイタリア)におけるリスク費用は抑制されたレベルに留まり、それぞれ 35 ベーシス・ポイント<sup>1</sup>および 74 ベーシス・ポイント<sup>1</sup>でした。しかし、その他のローン・ポートフォリオ(特にバンクウェスト、パーソナル・ファイナンス事業部門、ウクライナにおけるポートフォリオ)は景気後退の影響を受け、今後は CIB のファイナンス業務部門のポートフォリオにもその影響が及ぶ見通しです。最後に、金融危機の直接的な影響は、当四半期のリスク費用にも依然として及んでおり、主に CIB 事業部門におけるカウンターパーティー・リスクに起因する影響額が 3 億 5600 万ユーロありました(2008 年度第 1 四半期は 1 億 8600 万ユーロ)。

リスク費用の増加額は依然として営業総利益の増加額を下回っているため、営業利益は 2.6%押し上げられ 23 億 300 万ユーロとなりました。しかし、関連会社からの利益の減少、営業外利益であるキャピタル・ゲインの減少、また課税額の増加により、グループ帰属純利益は 15 億 5800 万ユーロとなり、2008 年度第 1 四半期と比較して 21.4%減少しました。また年率換算の株主資本利益率は 12.3%でした。

<sup>1</sup> バーゼル I 基準に基づくリスク加重資産

## 全事業部門が業績に貢献

当グループの全事業部門は引き続き事業を発展させ、当グループの業績に貢献しました。このことも、BNP パリバが、金融危機や景気後退を乗り越えられる大手グローバル銀行の一つであることを示しています。

## リテール・バンキング

### フランス国内リテール・バンキング(FRB)事業

フランス国内リテール・バンキング事業のセールスおよびマーケティング牽引力はその力強さを維持しました。個人顧客の獲得も続けられ、当年度第 1 四半期における当座および預金口座の純開設数は 6 万 5000 口座に達しました。ローン残高は、特に法人顧客に対するローン残高が 2008 年度第 4 四半期と比較して伸び悩んだものの、2008 年度第 1 四半期と比較して 8%増加し、増加傾向を維持しました。主要な金利が下がったにもかかわらず、特に非課税貯蓄型普通預金口座「Livret A」の販売が好調に推移したため、預金残高は前年同期と比較して 7.1%増加し、生命保険商品における総資産流入も 4.2%増加しました。

営業収益<sup>2</sup>は 15 億 2800 万ユーロとなり、金融貯蓄商品の不振が続く中、金融手数料が 23.6%も激減したにもかかわらず、極めて高水準であった 2008 年度第 1 四半期と比較して 0.5%増加しました。この金融手数料の減収は、好調な仲介業務により 6.5%増加した受取利息純額と、3.0%増加した銀行業務手数料により相殺されました。

当事業部門の営業費用<sup>2</sup>は、特に、継続中のバック・オフィス合理化策の対象を全ての非営利部門にまで拡大したことにより、前年同期比 0.5%減少しました。このような営業費用の優れた管理策により、FRB 事業部門は、2009 年度の目標と合致する 1.0 ポイント<sup>2</sup>の正のジョーズ効果を達成できました。コスト/インカム率も引き続き改善し、63.5%<sup>2</sup>(前年同期比 0.6 ポイント減)となりました。

リスク費用は増加したものの抑制されたレベルに留まり、35 ベーシス・ポイント<sup>1</sup>(2008 年度第 1 四半期は 12 ベーシス・ポイント<sup>1</sup>)となりました。この水準は、フランスにおける住宅ローンのリスク水準が構造的に低いこと(主に固定金利で十分な担保により保証されている)と、コーポレート・ローン・ポートフォリオの質が極めて高いことを示しています。

フランス国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後、PEL/CEL の影響を除いた FRB の税引前利益は、当事業部門の金融危機克服能力を反映して 4 億 4400 万ユーロ(2008 年度第 1 四半期比 7.7%減)となりました。

<sup>2</sup> フランス国内プライベート・バンキングの 100%に関して、PEL/CEL の影響を除く。

**BNL バンカ・コメルシアーレ(BNL bc)**

事業計画におけるシナジー効果は、2008 年度末までに全て計画通り実現しました。これにより、事業統合の実行における当グループの専門的能力が証明されました。BNL bc は事業の発展を継続させました。個人の当座および預金口座の純増数が 1 万 7000 口座(前年度は 9300 口座)に達したと同時に、生命保険商品における純資産流入純額も合計で 8 億ユーロとなり再び利益の見込める商品となりました。ローン残高は 2008 年度第 1 四半期と比較して 9.6%増加し、特に法人顧客に対するローン残高において増加の勢い(12.4%増)を保ちました。

営業収益<sup>3</sup>は 7 億 1500 万ユーロとなり、2008 年度第 1 四半期と比較して 5.1%増加しました。取引量やキャッシュ・マネジメント業務における資産流入額の増加が、運用資金からの手数料の減少を相殺するのに必要な額を上回りました。

2008 年度に実現したシナジー効果のおかげで安定化した営業費用<sup>3</sup>(0.2%減)や、2009 年度における預金残高の増加により、BNL bc は、2009 年度の目標と合致する 5 ポイントの正のジョーズ効果を達成できました。この好調な業績は、コスト/インカム率の更なる改善(初めて 60%の基準値を下回り 58.2%となった)に反映されています。

リスク費用は 1 億 700 万ユーロで、2008 年度第 1 四半期と比較して小幅増でした。これは、74 ベーシス・ポイント<sup>1</sup>(前年同期は 63 ベーシス・ポイント<sup>1</sup>)に相当します。BNP パリバの基準に従い、不履行期間が 90 日を超えている債権については不良債権に分類し関連する引当金を計上しています。

極めて優れた業績のおかげで、イタリア国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後、BNL bc の税引前利益は 1 億 9100 万ユーロに達し、2008 年度第 1 四半期と比較して 7.9%増加しました。

**パーソナル・ファイナンス**

パーソナル・ファイナンスの営業収益は合計 10 億 4500 万ユーロとなり、2008 年度第 1 四半期と比較して 14.6%増加しました。この高い営業収益牽引力は、特に、ローン残高の継続的な増加(前年同期比 10.9%増)や借換費用の減少によるものでした。

コスト削減策や非戦略的事業(特にタイやギリシャでの事業)からの撤退を加速したため、営業費用の増加は、2008 年度第 1 四半期比 3.6%増と小幅な変化に留まり、当四半期の営業総利益を 28.1%増の 5 億 2400 万ユーロへと押し上げる牽引力となりました。

全般的には景気が後退し失業者が増加しているという状況のため、リスク費用は、債務不履行率の上昇により、フランスやイタリアを含む地域で引き続き増加し、4 億 2100 万ユーロとなりました。リスク費用は、288 ベーシス・ポイント<sup>1</sup>に達しました(2008 年度第 1 四半期は 177 ベーシス・ポイント<sup>1</sup>、2008 年度第 4 四半期は 266 ベーシス・ポイント<sup>1</sup>)。

<sup>3</sup> イタリア国内プライベート・バンキングの 100%に関して

この結果、税引前利益は 1 億 1600 万ユーロとなり、2008 年度第 1 四半期と比較して 42.0%減少しました。この極めて好調な業績は、リスク費用の増加の相殺に必要な額を上回る額でした。

## バンクウェスト

米国での景気後退の影響を受け、5 億 5800 万ユーロとなったバンクウェストの営業収益は、2008 年度第 1 四半期と比較し、恒常為替レートベースでは 3.9%減少したものの、単発の項目を除いた場合には 0.6%増加しました。ローン残高の増加に関連する正の効果(恒常為替レートベースで 8.7%増)は、各種手数料の減収や、2008 年度第 1 四半期の 3.07%と比較して 3.03%に減少した純利鞘、また主要な金利の急激な低下により減少した預金残高の運用益等により相殺されました。

営業費用は 3 億 900 万ユーロとなり、特に FDIC の評価費用の増加が原因で、恒常為替レートベースでは 3.3%増加しました。しかしこの評価費用の影響を除いた場合の営業費用の増加率は 0.8%と限定的でした。またコストを年間 1 億ドル削減することを目的とするコスト削減策を開始しました。

リスク費用は 2 億 7900 万ユーロに達し、2008 年度第 1 四半期と比較して 1 億 7800 万ユーロ増加しました。これには、全てのローン・ポートフォリオに対する景気後退の影響額に加え、投資ポートフォリオについて新たに設定した 7900 万ユーロの引当金が含まれています。ローン・ポートフォリオの内、サブプライム、オルト A ローン、商業用不動産ローン担保証券 (CMBS) および関連する資産担保証券 (CDO) に対するエクスポージャー純額は 2 億ユーロを下回りました。2009 年度第 1 四半期のリスク費用は、277 ベーシス・ポイント<sup>1)</sup>(前年同期は 106 ベーシス・ポイント<sup>1)</sup>)に達しましたが、バンクウェストの同業他社の大半よりは少ない増加幅でした。

極めて厳しい環境の中、当四半期の税引前利益はマイナス 2900 万ユーロ(2008 年度第 1 四半期は 1 億 5100 万ユーロ)となりました。

## エマージング・マーケット・リテール・バンキング

エマージング・マーケットにおけるネットワークの営業収益は 4 億 7500 万ユーロとなり、2008 年度における本業の成長や、特にトレード・ファイナンス業務部門における好調な業績による正の影響により牽引され、2008 年度第 1 四半期と比較して 17.9%増加しました。

営業費用は、2008 年度における投資や支店開設の効果を含んでおり、前年同期と比較して 6.5%微増しました。しかし、ウクライナで継続中の事業再構築により 480 人の人員削減や 81 の支店閉鎖があり、トルコでも人員が削減されたため、営業費用は、2008 年度第 4 四半期と比較して 12.5%減少しました。この優れたコスト管理策により、コスト/インカム率は 6.3 ポイント改善して 58.7%となりました。

リスク費用は 1 億 6200 万ユーロとなり、2008 年度第 4 四半期に 2 億 7200 万ユーロの引当金を設定した後、ウクライナにて 1 億 2700 万ユーロの引当金を追加設定したため、2008 年度第 1 四半期と比較して 1 億 2600 万ユーロ増加しました。ウクライナ以外にリスク費用が大幅増となった地域はありませんでした。



ウクライナで景気後退が深刻化したにもかかわらず、税引前利益は 4000 万ユーロと正の数字を維持しました。これに対して、2008 年第 1 四半期の税引前利益は、TEB シゴルタの売却に伴うキャピタル・ゲイン(1 億 1100 万ユーロ)により 2 億 1900 万ユーロと極めて高水準でした。

### エクイップメント・ソリューション

エクイップメント・ソリューションの営業収益は合計 2 億 1200 万ユーロ(前年同期比 25.4%減)となり、当四半期においても中古車価格下落の影響を再び受けました。営業費用は 1 億 7300 万ユーロとなり、1.7%微減しました。

2008 年度第 1 四半期の 1600 万ユーロと比較して 5100 万ユーロに増加したリスク費用が、収益性を圧迫したため、1600 万ユーロの税引前損失(2008 年度第 1 四半期は 8900 万ユーロの税引前利益)が生じました。

### **資産運用および証券管理事業部門**

資産運用および証券管理事業部門は、より高い魅力や事業推進力を顕示しました。

依然として厳しい市場環境の中、全ての業務部門が業績に貢献したため、純資産流入額は極めて高水準の 134 億ユーロに達しました。資産運用業務部門の純資産流入額は、投資家のリスク回避志向が依然として高く、主にマネー・マーケット・ファンド商品への流入が増加したため、合計 88 億ユーロに達しました。富裕層向け資産管理業務部門における年率換算の純資産流入率は 6.4%でした。また主要な金利の低下が、保険業務部門における純資産流入額の増加(21 億ユーロ増)を促進しました。この高水準の純資産流入額と、外国為替相場の正の効果により、運用資金は、2008 年 12 月 31 日現在の水準と比較して増加しました。

当事業部門の営業収益は、2008 年度第 1 四半期比 9.2%減に留まり、好調を維持しました。合計 11 億 4700 万ユーロの営業収益は、運用資産の価値の下落(2008 年 3 月 31 日比 6.9%減)や取引量の減少、リターンが限定的な短期商品への資産流入の集中、また保険業務部門のエクイティ・ポートフォリオの減損費用による影響を受けています。これらの影響を除外した場合の、営業収益の減少は僅か 3.8%でした。

全業務部門でコスト削減策を実施した結果、営業費用は、3.0%減の 8 億 2000 万ユーロとなりました。

税引前利益の合計は 3 億 200 万ユーロ(2008 年度第 1 四半期は 4 億 3000 万ユーロ)でした。

## コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門

依然として厳しく混乱の続く市場環境の中、CIB 事業部門は卓越した業績をあげました。

営業収益合計は 36 億 9600 万ユーロ(2008 年度第 1 四半期は 13 億 1100 万ユーロ)となりました。当四半期の特徴は対顧客ビジネスの量が記録的となった点にあります。より高まった当グループの魅力により、その利益をより一層享受できました。

株式およびアドバイザリー業務部門は引き続きそのエクスポージャーを軽減しましたが、当四半期の営業収益は、収支均衡状態に戻りました。フロー商品により牽引されている対顧客ビジネスの量は、仕組み商品関連において減少しました。

フィクスト・インカム業務部門は、信用調整額が更に増加したにもかかわらず、28 億 8700 万ユーロ(うち 2 億 9600 万ユーロはモノライン保険会社に関連する額)という極めて高い営業収益を生み出しました。当業務部門のビジネス量は、フロー商品に対する顧客の需要が極めて高い水準を維持したことに牽引され、かつてない取引量に達しました。またビット・オファー・スプレッドの大幅な開きも有利なものでした。CIB フィクスト・インカム業務部門は、当第 1 四半期におけるユーロ建て社債の発行額で第 1 位を獲得しました。

市況の進展や、資本不足および高い流動性費用を考慮し、ファイナンス業務部門の営業収益の合計は 7 億 7600 万ユーロとなりました。これは、LBO に関連して 8600 万ユーロの公正価値調整額が計上された 2008 年度第 1 四半期と比較して 28.7%の急増となりました。この急増は、2008 年度同期と比較して配分資本が 8.5%減少した事実から明らかな通り、ここ数ヶ月間、融資実行時における融資先の選別精度をこれまで以上に高めていることと関係があります。

当事業部門の営業費用は 17 億 7000 万ユーロ(2008 年度第 1 四半期は 9 億 5200 万ユーロ)に達しました。営業費用は、主に、キャピタル・マーケット業務部門の当四半期における極めて堅調な業績に起因する変動対価引当金の増加による影響を受けたと同時に、これより影響は小さいものの、事業再構築費用や、バンク・オブ・アメリカのプライム・ブローカレッジ事業の統合に伴う連結範囲変更の影響も受けました。これらの影響を除外した場合、営業費用は 3.2%の減少となります。

当四半期の営業総利益の合計は 19 億 2600 万ユーロ(2008 年度第 1 四半期は 3 億 5900 万ユーロ)でした。

リスク費用は 6 億 9700 万ユーロ(2008 年度第 1 四半期は 5400 万ユーロ)に達しました。市場の各カウンターパーティーに関連するリスク費用は 2 億 7700 万ユーロ(うち 9800 万ユーロはモノライン関連の各カウンターパーティーと関係する額)となった一方、ファイナンス業務部門のリスク費用は、4000 万ユーロを償却戻入した前年度第 1 四半期と比較して急増し、4 億 2000 万ユーロ(または 117 ベーシス・ポイント<sup>1)</sup>)となりました。

これらの結果、CIB 事業部門の税引前利益の合計は 12 億 2900 万ユーロ(2008 年度第 1 四半期は 3 億 1800 万ユーロ)となり、依然として厳しい市場環境の中、大きな利益をあげました。またリスク費用が急増したにもかかわらず、ファイナンス業務部門はこの利益に 7100 万ユーロ貢献しました。

新たなコーポレートバンキング・投資銀行事業業界においても主要かつ競争力のある金融機関であり続けるという目標を追求している BNP パリバは、2008 年度末に組織の順応計画を導入しました。2009 年度第 1 四半期の環境は依然として極めて不安定でしたが、VaR が 2008 年 12 月 31 日現在の水準と比較して 46%低下したことが証明している通り、市場リスク(特にボラティリティ、配当、ベースス・リスクに対するエクスポージャー)の軽減目標は達成されました。このエクスポージャーの軽減と、ファイナンス業務部門にて融資実行時における融資先の選別精度をこれまで以上に高めている事実により、当事業部門のリスク加重資産は、2008 年 12 月 31 日現在の水準と比較して 10.5%減少しました。最後に、米国とアジアでは組織の合理化が既に完了した一方、欧州では事業再構築を現在実施中です。

## コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は 1 億 6300 万ユーロで、高水準であった 2008 年度第 1 四半期の 5 億 8300 万ユーロと比較して激減しました。資本市場での危機に伴い投資ポートフォリオについて計上した減損費用の影響額(マイナス 8500 万ユーロ)に加え、自己の負債(の公正価値評価)による利益の減少(2008 年度第 1 四半期の 1 億 8300 万ユーロと比較して当四半期は 5700 万ユーロ)が営業収益の激減の原因となりましたが、2008 年度第 1 四半期に実現した単発のキャピタル・ゲイン(Casa di Risparmio di Firenze : 2 億 3500 万ユーロ)の影響も小さくありませんでした。また営業外損益も、2008 年度第 1 四半期における資産の売却に伴うキャピタル・ゲインと関係のある相当のベーススの影響額(1 億 8700 万ユーロ)を含んでいます。当四半期の税引前利益は前年同期の 6 億 800 万ユーロと比較して急減し、1700 万ユーロとなりました。

## 財務の健全性の強化

BNP パリバは、当第 1 四半期も、新たな環境への順応計画の実施を継続しました。

リスク加重資産は 5040 億ユーロとなり、2008 年 12 月 31 日現在の水準と比較して 240 億ユーロ(または 4.6%)減少しました。この結果、当グループは、リスク加重資産を 200 億ユーロ減らすという 2009 年度通期の目標を既に達成したことになります。この減少は、主に、市場主導型の事業に対するエクスポージャーの軽減(マイナス 100 億ユーロ)や、CIB 事業部門のファイナンス業務部門におけるエクスポージャーの軽減(マイナス 100 億ユーロ)に起因するものでした。

2009 年 3 月 31 日現在の Tier 1 比率は 8.8%となり、2008 年 12 月 31 日現在の水準と比較して 100 ベースス・ポイント増加しました。この増加は、主に、当第 1 四半期における当グループの極めて優れた利益創出力(未払配当控除後で 20 ベースス・ポイントの増加に貢献)、売却可能有価証券から成るエクイティ・ポートフォリオの未実現キャピタル・ロス控除後のリスク加重資産の減少額(20 ベースス・ポイントの増加に貢献)、2009 年 1 月 1 日に発効した、バーゼルⅠ基準に基づくリスク加重資産の下限の低下(10 ベースス・ポイントの増加に貢献)に起因するものです。加えて、フランス政府による景気刺激策の第二段階への参加に伴い、フランス政府を受益者とする 51 億ユーロの無議決権株式を発行すると同時に、2008 年 12 月に発行した 25 億 5000 万ユーロのハイブリッド証券を償還したため、ソルベンシー・レシオが 50 ベースス・ポイント増加しました。

Tier 1 比率を常に 7.5%超にするという当グループの中期目標に照らしても、この 8.8%という Tier 1 資本のソルベンシー・レシオは、十分な数値といえます。



当年の期首より、銀行業界内で最も低い当行の CDS スプレッドがもたらす大きな競争力を積極的に利用するというアプローチをとっているため、BNP パリバは、2009 年度の債券発行計画に基づく発行額の半額以上に相当する 170 億ユーロ以上の中期および長期債券を発行しました。

## ベルギーおよびルクセンブルクにおけるフォルティス・バンクの事業の買収により、欧州において BNP パリバの統合的ビジネス・モデルを展開

4 月 28 日と 29 日に開催された株主総会にてフォルティス・バンクの株主より承認を得た後、契約の実施に伴う法的手続と両グループの経営統合が 5 月中旬より開始できる見込みです<sup>4</sup>。

この統合は、BNP パリバにとって、新たな 2 つの国内市場(ベルギーとルクセンブルク)への進出の節目となる主要な出来事です。

この統合により、BNP パリバは、預金高においてユーロ圏最大の金融グループとなり、5400 億ユーロの預金残高と 1700 万人の顧客を擁することとなります。また、プライベート・バンキング業務部門はユーロ圏で最大規模となり、資産運用業務部門もユーロ圏で第 4 位の規模となります。

関連事業計画は今秋にも完成予定です。

\*\*\*

以上の業績に対するコメントとして、ボードゥアン・プロ CEO は、次のように述べています。

「依然として厳しい環境の中でも、当四半期において当グループが極めて優れた利益創出力を示すことができたのは、各チームの能力とコミットメントによるところが極めて大きく、深く感謝します。また当グループの魅力がより高まったことや、新たな環境へ素早く順応できる当グループの体制も、この創出力に貢献したと考えています。

フォルティス・バンクとの合併により、個人・法人・機関投資家の全てのお客様のご要望にお応えできる欧州最大級の銀行が誕生します。实体经济に深く根差した体制の実現により、当グループは 4 つの国内市場(ベルギー、フランス、イタリア、ルクセンブルク)における経済成長を積極的に推進する役割を担うこととなります。またお客様には、最も幅広いグローバル金融サービスを提供するグループの一つである BNP パリバとのお取引により、数多くのメリットを享受いただけることとなります。」

<sup>4</sup> 欧州委員会の承認が条件となる。

## 連結損益計算書

(単位：百万ユーロ)	1Q09	1Q08	1Q09/ 1Q08	4Q08	1Q09/ 4Q08
<b>営業収益</b>	<b>9,477</b>	<b>7,395</b>	<b>+28.2%</b>	<b>4,850</b>	<b>+95.4%</b>
営業費用および減価償却費	-5,348	-4,605	+16.1%	-4,308	+24.1%
<b>営業総利益</b>	<b>4,129</b>	<b>2,790</b>	<b>+48.0%</b>	<b>542</b>	<b>n.s.</b>
リスク費用	-1,826	-546	n.s.	-2,552	-28.4%
<b>営業利益</b>	<b>2,303</b>	<b>2,244</b>	<b>+2.6%</b>	<b>-2,010</b>	<b>n.s.</b>
関連会社損益	-16	85	n.s.	-51	-68.6%
その他の営業外項目	3	345	-99.1%	93	-96.8%
<b>営業外損益</b>	<b>-13</b>	<b>430</b>	<b>n.s.</b>	<b>42</b>	<b>n.s.</b>
<b>税引前利益</b>	<b>2,290</b>	<b>2,674</b>	<b>-14.4%</b>	<b>-1,968</b>	<b>n.s.</b>
法人税	-658	-570	+15.4%	645	n.s.
少数株主損益	-74	-123	-39.8%	-43	+72.1%
<b>グループ帰属純利益</b>	<b>1,558</b>	<b>1,981</b>	<b>-21.4%</b>	<b>-1,366</b>	<b>n.s.</b>
<b>コスト/インカム率</b>	<b>56.4%</b>	<b>62.3%</b>	<b>-5.9 pt</b>	<b>88.8%</b>	<b>-32.4 pt</b>

BNP パリバの 2009 年度第 1 四半期の財務開示物は、本プレスリリース、および本文書に添付してある表示物に含まれています。

法令上要求される開示物は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「業績 (Results)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典の第 L.451-1-2 条の条文および [ 訳補：フランス ] 金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) 一般規則の第 222-1 条以降の条文に従って BNP パリバが公表しています。

## 2009 年度第 1 四半期の各事業部門の業績

(単位：百万ユーロ)	フランス国内 リテール・ バンキング事業	BNL bc	その他 リテール・ バンキング	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	各事業部門	その他	グループ 全体 (合計)
<b>営業収益</b>	<b>1,471</b>	<b>710</b>	<b>2,290</b>	<b>1,147</b>	<b>3,696</b>	<b>9,314</b>	<b>163</b>	<b>9,477</b>
対前年同期比	+1.0%	+5.3%	+8.6%	-9.2%	n.s.	+36.7%	-72.0%	+28.2%
対前四半期比	+5.7%	-1.3%	-2.6%	+7.1%	n.s.	+76.2%	n.s.	+95.4%
<b>営業費用および減価償却費</b>	<b>-942</b>	<b>-412</b>	<b>-1,282</b>	<b>-820</b>	<b>-1,770</b>	<b>-5,226</b>	<b>-122</b>	<b>-5,348</b>
対前年同期比	-0.3%	-0.2%	+6.7%	-3.0%	+85.9%	+19.9%	-50.8%	+16.1%
対前四半期比	-4.3%	-12.7%	-5.7%	-4.2%	n.s.	+24.8%	+0.0%	+24.1%
<b>営業総利益</b>	<b>529</b>	<b>298</b>	<b>1,008</b>	<b>327</b>	<b>1,926</b>	<b>4,088</b>	<b>41</b>	<b>4,129</b>
対前年同期比	+3.5%	+14.2%	+11.3%	-21.8%	n.s.	+66.5%	-87.8%	+48.0%
対前四半期比	+29.7%	+20.6%	+1.7%	+52.1%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
<b>リスク費用</b>	<b>-89</b>	<b>-107</b>	<b>-913</b>	<b>-13</b>	<b>-697</b>	<b>-1,819</b>	<b>-7</b>	<b>-1,826</b>
対前年同期比	n.s.	+27.4%	+138.4%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
対前四半期比	-8.2%	-27.2%	-7.9%	n.s.	-46.6%	-28.4%	-36.4%	-28.4%
<b>営業利益</b>	<b>440</b>	<b>191</b>	<b>95</b>	<b>314</b>	<b>1,229</b>	<b>2,269</b>	<b>34</b>	<b>2,303</b>
対前年同期比	-8.7%	+7.9%	-81.8%	-25.6%	n.s.	+18.9%	-89.9%	+2.6%
対前四半期比	+41.5%	+91.0%	n.s.	+46.7%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
関連会社損益	0	0	14	-8	-2	4	-20	-16
その他の営業外項目	0	0	2	-4	2	0	3	3
<b>税引前利益</b>	<b>440</b>	<b>191</b>	<b>111</b>	<b>302</b>	<b>1,229</b>	<b>2,273</b>	<b>17</b>	<b>2,290</b>
対前年同期比	-8.7%	+7.9%	-83.2%	-29.8%	n.s.	+10.0%	-97.2%	-14.4%
対前四半期比	+41.0%	+91.0%	-9.0%	+43.8%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.

(単位：百万ユーロ)	フランス国内 リテール・ バンキング事業	BNL bc	その他 リテール・ バンキング	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	各事業部門	その他	グループ 全体 (合計)
<b>営業収益</b>	<b>1,471</b>	<b>710</b>	<b>2,290</b>	<b>1,147</b>	<b>3,696</b>	<b>9,314</b>	<b>163</b>	<b>9,477</b>
前年同期	1,456	674	2,108	1,263	1,311	6,812	583	7,395
前四半期	1,392	719	2,351	1,071	-248	5,285	-435	4,850
<b>営業費用および減価償却費</b>	<b>-942</b>	<b>-412</b>	<b>-1,282</b>	<b>-820</b>	<b>-1,770</b>	<b>-5,226</b>	<b>-122</b>	<b>-5,348</b>
前年同期	-945	-413	-1,202	-845	-952	-4,357	-248	-4,605
前四半期	-984	-472	-1,360	-856	-514	-4,186	-122	-4,308
<b>営業総利益</b>	<b>529</b>	<b>298</b>	<b>1,008</b>	<b>327</b>	<b>1,926</b>	<b>4,088</b>	<b>41</b>	<b>4,129</b>
前年同期	511	261	906	418	359	2,455	335	2,790
前四半期	408	247	991	215	-762	1,099	-557	542
<b>リスク費用</b>	<b>-89</b>	<b>-107</b>	<b>-913</b>	<b>-13</b>	<b>-697</b>	<b>-1,819</b>	<b>-7</b>	<b>-1,826</b>
前年同期	-29	-84	-383	4	-54	-546	0	-546
前四半期	-97	-147	-991	-1	-1,305	-2,541	-11	-2,552
<b>営業利益</b>	<b>440</b>	<b>191</b>	<b>95</b>	<b>314</b>	<b>1,229</b>	<b>2,269</b>	<b>34</b>	<b>2,303</b>
前年同期	482	177	523	422	305	1,909	335	2,244
前四半期	311	100	0	214	-2,067	-1,442	-568	-2,010
関連会社損益	0	0	14	-8	-2	4	-20	-16
前年同期	0	0	21	8	1	30	55	85
前四半期	1	0	18	-3	0	16	-67	-51
その他の営業外項目	0	0	2	-4	2	0	3	3
前年同期	0	0	115	0	12	127	218	345
前四半期	0	0	104	-1	-1	102	-9	93
<b>税引前利益</b>	<b>440</b>	<b>191</b>	<b>111</b>	<b>302</b>	<b>1,229</b>	<b>2,273</b>	<b>17</b>	<b>2,290</b>
前年同期	482	177	659	430	318	2,066	608	2,674
前四半期	312	100	122	210	-2,068	-1,324	-644	-1,968
法人税								-658
少数株主損益								-74
<b>グループ帰属純利益</b>								<b>1,558</b>

## 四半期決算

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09
(単位：百万ユーロ)					
<b>グループ事業</b>					
営業収益	7,395	7,517	7,614	4,850	9,477
営業費用および減価償却費	-4,605	-4,852	-4,635	-4,308	-5,348
営業総利益	2,790	2,665	2,979	542	4,129
リスク費用	-546	-662	-1,992	-2,552	-1,826
営業利益	2,244	2,003	987	-2,010	2,303
関連会社損益	85	63	120	-51	-16
その他の営業外項目	345	9	36	93	3
税引前利益	2,674	2,075	1,143	-1,968	2,290
法人税	-570	-446	-101	645	-658
少数株主損益	-123	-124	-141	-43	-74
グループ帰属純利益	1,981	1,505	901	-1,366	1,558

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09
(単位：百万ユーロ)					
<b>フランス国内リテール・バンキング(フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む)</b>					
営業収益	1,521	1,516	1,470	1,442	1,524
うち受取利息純額	827	819	831	821	876
うち手数料	694	697	639	621	648
営業費用および減価償却費	-975	-985	-1,011	-1,012	-970
営業総利益	546	531	459	430	554
リスク費用	-29	-37	-40	-97	-89
営業利益	517	494	419	333	465
営業外損益	0	1	-1	1	0
税引前利益	517	495	418	334	465
IS 帰属利益	-35	-32	-28	-22	-25
フランス国内リテール・バンキング	482	463	390	312	440
税引前利益					
<b>PEL / CEL の影響を除くフランス国内リテール・バンキング(フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む)</b>					
営業収益	1,520	1,514	1,465	1,444	1,528
うち受取利息純額	826	817	826	823	880
うち手数料	694	697	639	621	648
営業費用および減価償却費	-975	-985	-1,011	-1,012	-970
営業総利益	545	529	454	432	558
リスク費用	-29	-37	-40	-97	-89
営業利益	516	492	414	335	469
営業外損益	0	1	-1	1	0
税引前利益	516	493	413	336	469
IS 帰属利益	-35	-32	-28	-22	-25
フランス国内リテール・バンキング	481	461	385	314	444
税引前利益					
<b>フランス国内リテール・バンキング(フランス国内プライベート・バンキングの 3分の2を含む)</b>					
営業収益	1,456	1,454	1,415	1,392	1,471
営業費用および減価償却費	-945	-955	-984	-984	-942
営業総利益	511	499	431	408	529
リスク費用	-29	-37	-40	-97	-89
営業利益	482	462	391	311	440
営業外損益	0	1	-1	1	0
税引前利益	482	463	390	312	440



	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09
(単位：百万ユーロ)					
<b>BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む)</b>					
営業収益	680	685	710	725	715
営業費用および減価償却費	-417	-430	-432	-478	-416
営業総利益	263	255	278	247	299
リスク費用	-84	-66	-114	-147	-107
営業利益	179	189	164	100	192
営業外損益	0	1	0	0	0
税引前利益	179	190	164	100	192
IS 帰属利益	-2	-3	0	0	-1
BNL bc の税引前利益	177	187	164	100	191
<b>BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの 3分の2を含む)</b>					
営業収益	674	677	705	719	710
営業費用および減価償却費	-413	-425	-427	-472	-412
営業総利益	261	252	278	247	298
リスク費用	-84	-66	-114	-147	-107
営業利益	177	186	164	100	191
営業外損益	0	1	0	0	0
税引前利益	177	187	164	100	191
<b>バンクウェスト</b>					
営業収益	509	485	433	600	558
営業費用および減価償却費	-261	-247	-263	-299	-309
営業総利益	248	238	170	301	249
リスク費用	-101	-123	-121	-283	-279
営業利益	147	115	49	18	-30
営業外損益	4	0	1	-1	1
税引前利益	151	115	50	17	-29
<b>パーソナル・ファイナンス</b>					
営業収益	912	944	968	968	1,045
営業費用および減価償却費	-503	-517	-518	-563	-521
営業総利益	409	427	450	405	524
リスク費用	-230	-274	-330	-384	-421
営業利益	179	153	120	21	103
関連会社損益	21	17	18	28	12
その他の営業外項目	0	0	-1	110	1
税引前利益	200	170	137	159	116

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09
(単位：百万ユーロ)					
<b>エマージング・リテール・バンキング</b>					
営業収益	403	440	495	558	475
営業費用および減価償却費	-262	-276	-289	-319	-279
営業総利益	141	164	206	239	196
リスク費用	-36	-22	-43	-276	-162
営業利益	105	142	163	-37	34
関連会社損益	3	5	5	1	6
その他の営業外項目	111	0	40	-4	0
税引前利益	219	147	208	-40	40
<b>エクイップメント・ソリューション</b>					
営業収益	284	284	274	225	212
営業費用および減価償却費	-176	-182	-179	-179	-173
営業総利益	108	102	95	46	39
リスク費用	-16	-52	-39	-48	-51
営業利益	92	50	56	-2	-12
関連会社損益	-3	-1	0	-11	-4
その他の営業外項目	0	0	0	-1	0
税引前利益	89	49	56	-14	-16
<b>資産運用および証券管理</b>					
営業収益	1,263	1,396	1,205	1,071	1,147
営業費用および減価償却費	-845	-867	-855	-856	-820
営業総利益	418	529	350	215	327
リスク費用	4	-4	-206	-1	-13
営業利益	422	525	144	214	314
関連会社損益	8	11	-8	-3	-8
その他の営業外項目	0	0	-2	-1	-4
税引前利益	430	536	134	210	302
<b>資産管理(富裕層向け資産運用業務)</b>					
営業収益	600	662	568	543	548
営業費用および減価償却費	-440	-448	-431	-436	-418
営業総利益	160	214	137	107	130
リスク費用	2	0	-10	-16	-4
営業利益	162	214	127	91	126
関連会社損益	0	3	1	0	-2
その他の営業外項目	0	0	0	1	-4
税引前利益	162	217	128	92	120
<b>保険</b>					
営業収益	353	392	368	205	299
営業費用および減価償却費	-173	-181	-182	-175	-170
営業総利益	180	211	186	30	129
リスク費用	2	-4	-41	-2	-8
営業利益	182	207	145	28	121
関連会社損益	8	8	-10	-3	-6
その他営業外項目	0	0	-2	-1	0
税引前利益	190	215	133	24	115

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09
(単位：百万ユーロ)					
<b>証券管理</b>					
営業収益	310	342	269	323	300
営業費用および減価償却費	-232	-238	-242	-245	-232
営業総利益	78	104	27	78	68
リスク費用	0	0	-155	17	-1
営業利益	78	104	-128	95	67
営業外損益	0	0	1	-1	0
税引前利益	78	104	-127	94	67
<b>コーポレートバンキング・投資銀行</b>					
営業収益	1,311	1,852	2,058	-248	3,696
営業費用および減価償却費	-952	-1,256	-989	-514	-1,770
営業総利益	359	596	1,069	-762	1,926
リスク費用	-54	-86	-1,032	-1,305	-697
営業利益	305	510	37	-2,067	1,229
関連会社損益	1	0	0	0	-2
その他の営業外項目	12	13	1	-1	2
税引前利益	318	523	38	-2,068	1,229
<b>アドバイザーおよびキャピタルマーケット</b>					
営業収益	708	1,139	1,368	-1,149	2,920
うち株式会社およびアドバイザー	316	750	492	-1,899	33
うちフィクスト・インカム	392	389	876	750	2,887
営業費用および減価償却費	-662	-955	-695	-295	-1,485
営業総利益	46	184	673	-1,444	1,435
リスク費用	-94	-43	-909	-1,076	-277
営業利益	-48	141	-236	-2,520	1,158
関連会社損益	1	0	0	0	-2
その他の営業外項目	12	12	1	0	2
税引前利益	-35	153	-235	-2,520	1,158
<b>ファイナンス業務</b>					
営業収益	603	713	690	901	776
営業費用および減価償却費	-290	-301	-294	-219	-285
営業総利益	313	412	396	682	491
リスク費用	40	-43	-123	-229	-420
営業利益	353	369	273	453	71
営業外損益	0	1	0	-1	0
税引前利益	353	370	273	452	71
<b>コーポレート・センター(BNPパリバ・キャピタルおよびクレピエールを含む)</b>					
営業収益	583	-15	61	-435	163
うちBNPパリバ・キャピタル	135	44	3	-30	115
営業費用および減価償却費	-248	-127	-131	-122	-122
うちBNL事業再構築費用	-146	-20	-19	-54	-5
営業総利益	335	-142	-70	-557	41
リスク費用	0	2	-67	-11	-7
営業利益	335	-140	-137	-568	34
関連会社損益	55	29	106	-67	-20
その他の営業外項目	218	-4	-3	-9	3
税引前利益	608	-115	-34	-644	17

## 目次

15 億 6000 万ユーロの純利益(グループ帰属分) .....	2
全事業部門が業績に貢献 .....	3
リテール・バンキング.....	3
資産運用および証券管理事業部門.....	6
コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門 .....	7
財務の健全性の強化 .....	8
ベルギーおよびルクセンブルクにおけるフォルティス・バンクの事業の買収により、欧州において BNP パリバの統合的ビジネス・モデルを展開 .....	9
連結損益計算書.....	10
2009 年度第 1 四半期の各事業部門の業績 .....	11
四半期決算.....	12

本プレスリリースには、BNP パリバおよびフォルティス・バンク NV/SA や各行の関連会社、また先日発表した提携案に関する予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および予想成果に関する見通し、ならびに将来の業績およびシナジーに関する仮定があります。BNP パリバが管理できないものを含む多くの要素により、実際の結果は予想と大幅に異なる可能性があります。これらの要素には、必要な規制当局からの許可、BNP パリバの株主の承認、BNP パリバまたはフォルティス・バンク NV/SA および各行の子会社による事業展開、銀行・金融サービス・保険業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバル経済または BNP パリバおよびフォルティス・バンク NV/SA の主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制等があります。これらの事象の発生可能性はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。BNP パリバは、いかなる予測の修正またはアップデートも公開する義務を負いません。

本プレスリリースに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、個別に真実たることを確認したのではなく、ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその真正性、的確性、正確性、完全性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代理人・代表者ともに、本プレスリリースあるいはその内容の使用により生ずる、もしくはここに記載の表明・資料・情報に関連して生じるあらゆる損失について、過失責任またはその他の理由に基づく責任を負いません。